

1 令和2年度補正予算について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 今回の補正予算第5号の要求額総額はいくらか。
  - ⇒ 16億円余である。査定額との差額が11億円ほどあるが、これは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第二次交付限度額を見通したうえで要求いただいたものである。本日時点では第二次交付限度額が示されていないが、今後国から通知があり次第、内容を精査したうえで来月の臨時市議会に補正予算を提案していきたい。
- ・ 今回の補正予算で財政調整基金及び新型コロナウイルス対策思いやり応援基金を取り崩し充当しているが、充当する事業に明確なルールはあるのか。
  - ⇒ 財政調整基金は従前と変わらないが、新型コロナウイルス対策思いやり応援基金については、医療提供体制の整備や新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた地域経済及び住民生活の支援等に資する事業に充当することとしているが、明確なルールまでは設けていない。
- ・ 第二次交付限度額が示された後の補正予算については、市議会の理解が得られれば専決とするのか。
  - ⇒ 正副議長への説明後、場合によっては専決もあり得るが、基本的には市議会に提案し、審議していただくことになると思われる。

2 令和2年度宝塚市病院事業会計補正予算(第2号)について

【提 案】 市立病院経営統括部

【結 果】 承認

【質疑等】

- ・ 今後、発熱外来を市立病院で実施する場合、市民向けのPCR検査を実施することはあるのか。
  - ⇒ 県では検査件数を増やすことを考えており、1日1,000件を目標にして伊丹市に専門の接触者外来を設置しようとしている。本市においてはそこまでの実施は難しいが、実施した方が効率的であると思われるものについては、対応していきたいと考えている。